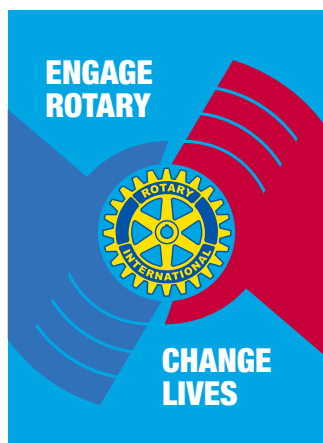




<http://www.rid2550.com/>

ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2550

Governor's Monthly Letter



国際ロータリー第2550地区

ガバナー月信

1 January 月号



春の朝、色とりどりの熱気球が天空を彩る。その時、カモが上空を通り過ぎた。後方は渡良瀬川の土手 <撮影・東京新聞写真部 堀内洋助>

CONTENTS

特別講演 ロータリー活動で感じたこと〈中編〉
講師：田中 作次 直前 RI 会長 2

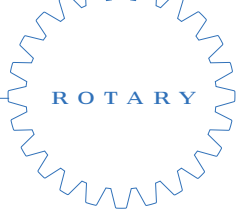
ガバナー公式訪問だより 4

ガバナーメッセージ 1 11 月会員増強・出席報告 8

次年度地区大会のご案内 9

新入会員紹介 9

ロータリー国際大会(シドニー)のおしらせ



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として
奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。
具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

News

ロータリーレート / 1\$ = 102円

主要行事

- | | |
|----------------------------|-----------------------------------|
| 1/19 日 第2回会長・幹事会 | 2/23 日 第5グループIM |
| 1/26 日 第6グループIM | 2/23 日 2014-15 第3回ガバナー補佐研修会 |
| 2/9 日 第3回諮問委員会・第2回地区運営委員会 | 3/9 日 2014-15 会長エレクト研修セミナー (PETS) |
| 2/9 日 2014-15 第2回G補佐研修会 | 3/16 日 第7グループIM |
| 2/9 日 第4グループIM | 3/26 水 第2グループIM |
| 2/11 火 2014-15 地区チーム研修セミナー | 3/29 土 2014-15 地区財団研究会 |
| 2/15 土 2014-15 財団補助金管理セミナー | 4/13 日 米山奨学生・カウンセラーオリエンテーション |
| 2/16 日 R米山記念奨学会修了式・歓送会 | 4/20 日 地区研修・協議会(地区協議会) |
| 2/22 土 高校生RYLAセミナー | 4/26 土 ~27 日 足尾植樹奉仕活動 |
| 2/22 土 田沼RC 創立50周年記念式典 | 5/11 日 栃木西ロータリークラブ50周年記念式典 |



ガバナーメッセージ

1月：ロータリー理解推進

折り返し点からさらなる飛躍を

—— ロータリーの理解を深めながら ——

Imura Shinichi

2013-14年度 国際ロータリー第2550地区ガバナー

飯村 慎一

「1月 (January)はローマ人たちが、双面神ヤヌス (Janus)に関連づけた月です。ヤヌスは(頭の前と後ろに顔をもち)一つの顔で過ぎ去った年を振り返り、もう一つの顔で来るべき年を期待とともに見つめています。」(ジョン・ケニー元RI会長)

◆あけましておめでとうございます。

ロータリー年度では、1月がちょうど折り返し点に当たり、過去6カ月の成果をよく吟味し、次なる半年へつなげていく重要な月です。まず、ヤヌスの頭の後の顔で半年を振り返ってみますと、ガバナー公式訪問は、2カ所だけが合同で、あとは全クラブ個別に訪ね、合計で48回の公式訪問でした。会長幹事懇談会・例会・クラブ協議会(炉辺会議)では、全クラブの会員の方々にお話をさせていただき、また皆様との意見交換の中で本音のお声を伺うことができ、大変有意義な体験でした。会員数、会費、寄付(財団・米山)、奉仕活動の内容など、各クラブが各々の課題を持ち、真剣に取り組んでいたことは貴重でありました。また、クラブの大小には関係なく、会員の皆様のロータリーに対する熱い思いと情熱が感じられ、感銘した次第です。

次に、頭の前顔でこれからの半年を見ますと、まず会員増強・維持や自クラブの課題に前向きに取り組みながら、皆様が立てました年度計画を着実に実践し、そして、RI会長賞に挑んでください。賞の条件は①純増1名②人道的奉仕③全会員・家族が参加した親睦または奉仕です。大いにチャレンジすることから道は開けてきますので、頑張ってくださいね。

◆フィリピン台風30号の被災地への義援金、ありがとうございました。

ガバナー会では一人1,000円の見当で呼びかけようと決議しましたが、当地区でも皆様にお願ひしましたところ、12月6日までという短期間にもかかわらず目標近い義援金が集まりました。心より感謝申しあげます。問題は、お金が

確実に被災地へ届くかどうかです。フィリピン人を信頼しないという事ではなく、皆様の貴重な浄財を確実に有効に使われる道を探すことがガバナーの役目と認識しております。したがって、今回、ガバナー会の許可を得て、12月10日～13日に、私と設楽厚夫地区会計長の2人でフィリピン台風被災地の近隣ロータリークラブに行き、義援金の一部(50万円)を直接届けてまいりました。現地で分かったことは、義援金や救援物資はレイテ島(タクロバン)に集中していますが、同じ緯度に位置し、同等の被害を受けているパナイ島などの隣接する島々には、ほとんど支援が届いていないということでした。現地のロータリアンは、このパナイ島を救援しようと支援活動を行っております。第2550地区もこの支援に協力すると同時に、義援金をどのように使ったか報告してもらう確約をまいりました。

◆1月はロータリー理解推進月間です。

ポールハリスは、100年後にロータリーは生き残っているかと自らに問い、そして、生き続けていると確信し、また、発展すると予測しておりました。今では108年目を迎え、その予測通り、世界の200以上の国と地域に34,000以上のクラブ数と122万人の会員数を擁し、大いに発展してまいりました。これは、全世界のロータリアンがロータリーを理解し、その理念を学んできた結果であり、多様な国々・人々の間で、同じ使命を持ち続けたからであります。

私たちも、このすばらしい先人たちの期待に応え、その志を受け継ぎ、この強調月間に当たり、ロータリーを学び良く理解しながら、次なる100年へ向けて、さらにロータリーを実践していきましょう。

「今から100年後にロータリーはどうなっているのでしょうか？ 生きている人には想像もつきません。現在のロータリーにとって不可能なことはありません。私は、ロータリーは生き続けると信じています。生きているなら、発展するでしょう。」(ポールハリス、ロータリアン誌、1915年2月号)

特別講演

第2550地区 ロータリー情報研修会

ロータリー活動で感じたこと 中編

講師：田中 作次 直前RI会長

於：2013年11月2日（土）宇都宮グランドホテル



イスラエルで、世界の最貧国の子どもたちに現代的な心臓医療を提供しているロータリーのプロジェクトを見ました。このプロジェクトでは、小児心臓外科医が、アフリカ、東ヨーロッパ、中国に赴き、現地の医師に手術や集中治療の研修を行っています。さらに、これまで18年間に、17,000人を超えるの子どもがテルアビブにやって来て、心臓救命手術を受けました。

ほかの多くのロータリー・プロジェクトと同様、このプロジェクトは、当初の計画よりもかなり多くのことを成し遂げてきました。もちろん当初も、心臓疾患を抱える子どもたちに現代医療を提供し、長く、健康的な人生を与えることを目標としていましたが、目標への過程で、平和の構築にも役立ってきたのです。

手術を受けにやって来る子どもたちの半数は、パレスチナ人居住地区や、ヨルダン、イラクから来るアラブ人の子どもたちです。彼らは、イスラエルを嫌い、恐れるよう教えられて育ちましたが、このプロジェクトを通じて、家族も含め、それまで見ることのなかった現実を、自分の目で見える機会に恵まれました。政治のないところで、両サイドの人たちが結びついたのです。そこにある思いやりの心、コミュニケーション、相互理解は、それ以外の方法では実現しなかったでしょう。これこそ、私たち異なる背景を持っている人々にとっては、平和を構築するための最善の方法ではないでしょうか。このような行動を通じて、奉仕の心を多くの人々に持ってもらい、幸せと希望に満ちた世界をつくり、究極的には、世界平和という目標を実現できると、私は思います。

ロータリーのおかげで、世界を違った視点から見るできるようになりました。ロータリーは、地域社会や国際社会に影響を与えられるだけでなく、私がそうであったように、1人の人間の人生に影響を与えます。ロータリーの真の素晴らしさは、そこにあるのではないのでしょうか。

国連憲章の前文に、次のような文言があります。「寛容を実行し、かつ、善良な隣人として互に平和に生活する」

こと。これは、ロータリーの中核にある目標と一致しているように思います。この言葉を、ぜひ行動で実践していただきたいと思います。

ロータリーへの入会理由はそれぞれ異なるかもしれませんが、誰かの人生に喜びをもたらすことによって、自分自身が幸せになれるということは、多くのロータリアンにとって、ロータリアンであり続ける理由となっているのではないのでしょうか。これこそが、ロータリーの精神であり、平和な世界を築くために必要な精神であると思います。

RI会長になって以来、新しい体験をたくさんさせていただきました。初めてアフリカそして南米の国々を訪れたのははじめ、インド、モンゴル、フィリピン、ネパール、ヨーロッパ、米国の各都市など、世界各地に参りました。そして訪れる先々で、貴重な体験をさせていただきました。

アメリカのメイン州では、ロブスターを食べるときには背広ではいけないということで、現地のロータリアンがテーマ入りの特性Tシャツを作ってくださいました。また、ナイロビでは、3歳の女の子の「名誉おじいちゃん」になりました。アムステルダムでは、証券取引所の開始の鐘を鳴らす栄誉に授けられました。

また、壊滅的な打撃をもたらしたハリケーン「サンディ」の直後にニューヨークの国連本部を訪れ、モンゴルでは遊牧民のテントの中に入りました。

どこへ参りましても、現地の方々から温かい歓迎を受け、自宅でもてなしていただいたり、友人のように接していただいたことに、感動いたしました。また、このロータリーのピンを身に付けられることの素晴らしさを、改めて実感いたしました。どこへ行っても、誰に会っても、ロータリーのピンを付けている人を見れば、その人がどういう人なのかが分かります。

どこに住んでいようと、何語を話そうと、どんな服を着ていようと、ロータリーのピンを付けている人なら、信頼することができます。同じ価値観を持ち、腹を割って話し合い、友情を分かち合うことができます。私は新潟県で

生まれ、現在は八潮市に住んでおりますが、ロータリアンとしてどこを訪れても、ふるさとを訪れているような気持ちになることができます。

それが、ロータリーが私たちに与えてくれる素晴らしいプレゼントだと思います。本日は、友人たちに囲まれ、母国日本で、ロータリーという心のふるさとにいられることを、とてもうれしく思います。

私が小学生のころ、週に一度母と私は、市場まで往復40キロの道を、リヤカーを引いて野菜を売りに行きました。そのころは日本人以外の方々とは、一度もお会いしたことがなく、私が生まれた村が私の全世界でした。ですから、私はいつも、旅することを夢に見ておりました。遠くの町や国を夢見ながら、どんな所なのだろうと想像していました。それ以来、幸いにも、頻繁に旅をする機会があり、自分で思いもよらないほど、世界のあちこちを見ることができました。

しかし、ロータリーでの経験ほど私の視野を広げてくれたものはありません。ロータリアンになるまで、私の目に入っていたものと言えば、仕事、家族、顧客、競争相手など、身近なものばかりでした。旅に出ても、お決まりのものしか見ていませんでした。その背景にあるもの、自分と関わりがないと思うものには、気にも留めていませんでした。

その後、私は事業拡大のために東京から埼玉県八潮市に本社を移しました。それから間もなく八潮にロータリークラブができることを知りました。これは38年前の話です。しかしロータリーという組織の意味も内容も全く知りませんでしたので、そのころのイメージは駅前のロータリー広場で私たちが、何かをするのかと思っていました。ところがまもなく東京から移ってきたばかりの私に「田中さん、ロータリーを作るので貴方もぜひ参加してください」と言われました。その方のお名前は関考友さんという地元の有志でしたのでこの地域のためになる組織や団体ならば進んで参加すべきという考えで了解しました。このような経緯の後に八潮ロータリー・クラブに入会しました。それから1～2年間はクラブにあまりなじみずじまま出席だけしていました。その後、ある方が例会に来て、職業奉仕についてお話をしてくださったのです。

私は、その日から自分の生きる目的や人生の考え方が少しずつ変わってきました。収入や、売り上げを増やすことや、自分の会社をほかの会社よりも良くし、大きくすることだけでなく、人として、職業人として、もっとよい、もっと高い目的を持って人生を送りたいと思うようになったの

です。

そしてそのために、他の人たちの役に立つこと、そして地域社会の発展に少しでも寄与することが、私にとって人生で最も大切なことだと思うようになりました。さらに私は、どんな些細なことでも、地域や世界社会で困っている人々を助けることが、いずれは平和につながることに気づきました。

ロータリーは、保健、衛生、食糧、教育などの人々の基本的なニーズに、最も必要とされている地域で応えることができます。そして、友情、つながり、思いやりといった、私たちの心のニーズにも応えることができます。

さらに、国や民族間の友情と寛容を推進することで、ロータリーは、最も伝統的な意味での「平和」を、つまり、互いを理解し合う後押しをしてくれます。

ロータリーの奉仕活動を通じて、私たちは、大きな問題のように見えることでも、力を合わせれば、すぐに解決できることを学んでいます。人を思いやることを学び、自分と違った境遇の人々と知り合うことで、人はみな同じであると理解できます。

ロータリーの奉仕活動を通じて、私たちは、何かを達成しようとするなら、対立より協力を選ぶのが得策であることを知ります。他の人の長所と短所、両方を尊重することを理解できます。そして、どのような人からも必ず得るものがあり、教えられるものがあることを学びます。私は、「超我の奉仕」は単なる標語ではないと考えております。それは、誰の人生をも、さらに豊かで、有意義なものにする、生き方を示していると思います。ロータリアンは、自分よりも、ほかの人のニーズを重視します。自分だけでなく、社会全体のためを考えます。「超我の奉仕」という言葉は、人生で本当に大切なこと、エネルギーを注ぐべきことは何なのかを、私たちに教えてくれる言葉です。そうすることで、より平和な世界の基盤を築くことができると考えます。

また、「超我の奉仕」は、人はみな自分だけでは生きていくことができないということを教えてくれます。人との関わりのない人生は、空しく、つまらないものですが、家族、地域社会、そして人類全体における自分の役割を常に意識して、つまり、人のために生きること、この世界における自分の役割がはっきりと見えてきます。私の世代は、戦後に日本で育った最初の世代でした。ですから、私たちが、それほど平和を重視するのは、当たり前かもしれません。

＜後編は次号掲載＞

⇒ ガバナー公式訪問だより ⇐



栃木ロータリークラブ

〔日 時〕2013年10月16日（水）

〔会 場〕栃木グランドホテル

飯村ガバナーの卓話では、今年度のRIテーマの「ENGAGE ROTARY」の意味の説明や現在の国際ロータリーの課題についてお話しをいただきました。「ロンD. バートン会長は、私たちみんなの潜在

能力を発揮していきましよう」と訴えています。栃木ロータリークラブにも60年の歴史の潜在能力が、まだまだあると思います。ぜひそれらを発揮していただきたい」と激励をいただきました。クラブ協議会では、各委員長が活動報告と現状の課題を報告。飯村ガバナーからは「寺内会長の基本方針は、私のガバナー方針を踏まえて作っていただいております、その基本方針が各委員会報告にも反映されていて素晴らしいかと思います。『魅力あるクラブづくり』を頑張ってくださいと思います」とご指導いただきました。



〔会 長〕寺内 治雄

〔幹 事〕茂呂 章



大田原ロータリークラブ

〔日 時〕2013年10月24日（木）

〔会 場〕大田原温泉・ホテル龍城苑

午前11時30分からガバナー、会長、幹事懇談会が始まりました。来年度はわがクラブのガバナー年度ということで、長嶋一郎ガバナーエレクト、大橋会長エレクト、関口幹事エレクトの同席をお許しい

ただいての懇談会でした。ロータリーの活動とクラブ運営について懇談し、ご指導をいただきました。午後12時30分からの例会では、RIテーマ、ポリオ、未来の夢計画、会員増強、公共イメージ、国際大会、職業奉仕理念など、ロータリー全般についての講話をいただきました。クラブ協議会では16の委員会すべての報告をお聞きいただき、アドバイスをちょうだいいたしました。今年度入会したばかりの会員の1人が「ロータリーが理解でき、はっきり見えてきた」と語ってくれたことは、1クラブ単位の公式訪問の最大の成果だったと思います。



〔会 長〕蜂巣 貞美

〔幹 事〕小西久美子



宇都宮陽北ロータリークラブ

〔日 時〕2013年10月29日（火）

〔会 場〕ベルヴィ宇都宮

10月29日（火）クラブ例会場ベルヴィにおいて、飯村愼一ガバナー、佐藤節ガバナー補佐をお迎えして、ガバナー公式訪問が行われました。午前11時30分から、会長、幹事、会長エレクトとの懇談会が、

飯村ガバナー、佐藤ガバナー補佐を囲み開かれました。現況報告書を事前にご覧いただいておりますので、詳細なご指摘をちょうだいいたしましたことは、大変勉強になりました。12時30分からの例会においては、宇都宮90ロータリークラブより、地区幹事・川名悟様、副幹事・卯木伸男様も同席され、ガバナーより本年度のRIテーマ、また、会員増強の卓話をいただきました。クラブ協議会では各委員会の委員長の報告に、1つひとつ丁寧かつ有意義なご指導をいただきましたので、今後のクラブ運営に活かしていきたいと思います。



〔会 長〕橋本 泉

〔幹 事〕寺田美智子



小山北ロータリークラブ

〔日 時〕2013年10月30日（水）

〔会 場〕古城園ホテル

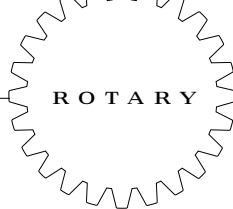
緊張のうちに、飯村愼一ガバナーをお迎えしました。午前11時30分より会長、幹事、副会長、ガバナー補佐を交え、懇談会が開かれました。飯村ガバナーは事前に小山北ロータリークラブのことをお調べに

なっており、現況報告書に基づき、ご指導、分かりやすい解説などをいただきました。午後12時30分より例会が開かれ、飯村ガバナーによる記念卓話を開催しました。今年度のRIテーマの解説、第2550地区のテーマ、地区目標などを「熱き思いを持って」ご披露され、メンバーがその思いを一つにしたところです。クラブ協議会では、飯村ガバナーが自ら次年度ガバナー補佐の委嘱状を石川陽二会員に手渡され、石川会員は感激していました。活発な質疑応答が行われ、飯村ガバナーの人柄が表れる解説をいただき、心に残る公式訪問でした。



〔会 長〕成子 一美

〔幹 事〕鈴木 修



宇都宮陽南ロータリークラブ

〔日 時〕2013年10月31日（木）

〔会 場〕ホテルニューイタヤ

10月31日、飯村愼一ガバナーをお迎えして、午前11時30分より、会長、幹事、村上ガバナー補佐を交えまして、懇談会を行いました。少し緊張して懇談会に臨みましたが、ガバナーの優しい語り口で

例会の活性化、会員増強について貴重なアドバイスをいただきホッと、ロータリークラブのあり方を再認識しました。午後12時30分より例会を開始しました。宇都宮90ロータリークラブの小林恒夫会長も参加をしていただきました。ガバナーの記念卓話では、RIテーマに向かって1年間行動をしていくこと、宇都宮において新しいクラブを作りたいと話されました。クラブ協議会では、飯村愼一ガバナーと会員とひざを交えての活発な意見交換をさせていただきました。最後に村上ガバナー補佐の講評をいただきました。



〔会 長〕浅川 信明

〔幹 事〕芳賀 清多



栃木西ロータリークラブ

〔日 時〕2013年11月5日（火）

〔会 場〕ホテルサンルート栃木

11月5日（火）午前10時30分より、飯村愼一ガバナーをお迎えして、午前中懇談会を11時30分ごろまで行いました。出席者は村上ガバナー補佐、当クラブからは、落合パストガバナー、正副会長、

正副幹事で、和やかで有意義な懇談ができました。

その中でロータリー財団への理解と協力が顕著であるとお褒めの言葉をいただき、これからも努力していきますとお答えさせていただきました。その他の事業、活動についても同じようにお褒めの言葉をいただき、これからのロータリー活動に自信をもって臨めると明るい気分になりました。

しかし、よいことばかりではありません。会員の増強についてはなかなか進まず苦慮しています。ガバナーに増強の進んでいるクラブのお話しをお伺いして大変参考になりました。



〔会 長〕堀越 元樹

〔幹 事〕出口 澄



宇都宮南ロータリークラブ

〔日 時〕2013年11月6日（水）

〔会 場〕ホテルニューイタヤ

例会に先立ち、村上芳弘ガバナー補佐を交えての会長・幹事懇談会が開かれました。厳しいご指摘を覚悟しておりましたが、実際は終始和やかなムードの懇談会となり、貴重なご指導をいただくと

ともに、報告書について高い評価をちょうだいできて安堵しました。多忙な中、事前に報告書の細部までチェックされていることには敬服させられました。例会では、「未来の夢計画」や公共イメージの向上について優しい口調ながら熱い思いを語ってくださいました。その後の炉辺会議では、テーブルを撤去して全員がガバナー席を取り囲む当クラブ独自の配置に、当初戸惑われた様子で苦笑されていましたが、打ち解けた雰囲気の下、会員増強やインターアクト・クラブなどについて有意義な意見交換をすることができました。



〔会 長〕仲田 俊夫

〔幹 事〕田口 久雄



足利西ロータリークラブ

〔日 時〕2013年11月7日（木）

〔会 場〕東葉館

11月7日（木）、ご無理を聞いていただき夜間例会での公式訪問となりました。

「魅力あるクラブづくりをするには、ある程度の会員数が必要ですが、勧誘する時は魅力のあるクラブ

でないとなかなか入会していただけません。入会すればあなたの人生が変わりますというようなお話しをし、会員増強に励んでいただきたい。また、ニコニコボックスの再考をお願いしたい」とのご指摘もありました。

それから「ロータリーの友」の内容を、5分ほど委員長さんがお話しをし、興味を持たせてほしいとのことでした。16名の小さなクラブですが、「50周年という歴史あるクラブです。今後もロータリー活動に専念していただきたい」とおっしゃっておいりました。



〔会 長〕荻野 純三

〔幹 事〕大塚 真司

第2550地区 11月会員増強・出席報告

分 区	クラブ名	例 会 数	11月出席率		会員数							
			今月	平均	7月 1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性 会員
第1グループ	大田原	4	84.63	87.37	31	35	0	0	4	0	4	2
	黒磯	4	79.30	83.01	39	38	0	1	0	1	-1	2
	西那須野	4	87.41	89.15	37	38	0	0	1	0	1	0
	黒羽	5	95.39	94.08	13	13	0	0	0	0	0	0
	那須	4	70.97	86.19	10	11	0	0	1	0	1	2
	塩原	4	64.28	68.71	7	7	0	0	0	0	0	0
第2グループ	大田原中央	3	72.00	71.60	26	25	0	0	0	1	-1	2
	鳥山	4	90.00	93.23	10	11	0	0	1	0	1	1
	氏家	4	74.44	81.54	25	25	0	0	0	0	0	0
	矢板	4	77.90	71.81	18	19	0	0	1	0	1	3
	馬頭小川	4	86.60	87.45	20	20	0	0	0	0	0	0
	高根沢	4	85.00	82.00	16	16	0	0	0	0	0	0
第3グループA	宇都宮	4	71.60	76.54	87	95	1	0	9	1	8	0
	宇都宮西	4	80.67	81.13	72	72	0	0	0	0	0	0
	宇都宮北	5	78.52	77.89	45	48	0	0	3	0	3	0
	宇都宮90	3	89.03	89.85	40	41	0	0	1	0	1	3
	宇都宮陽北	4	84.20	80.61	34	34	0	0	0	0	0	3
	宇都宮東	4	94.34	95.61	98	103	1	0	6	1	5	0
第3グループB	宇都宮南	4	89.06	86.11	43	45	0	0	2	0	2	0
	宇都宮陽東	4	79.61	81.43	42	42	0	0	0	0	0	0
	宇都宮陽南	4	84.37	84.64	16	16	0	0	0	0	0	2
	真岡	3	84.30	84.20	54	54	0	1	1	1	0	0
	益子	4	90.60	89.32	25	29	0	0	4	0	4	0
	真岡西	4	85.88	91.74	35	36	0	0	1	0	1	5
第4グループ	しもつけ	4	91.67	92.74	30	31	0	0	1	0	1	7

分 区	クラブ名	例 会 数	11月出席率		会員数							
			今月	平均	7月 1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性 会員
第5グループ	小山	4	98.65	95.92	33	37	0	0	4	0	4	0
	小山南	4	89.58	97.67	20	20	0	0	2	2	0	3
	小山東	5	84.70	88.57	29	30	0	0	1	0	1	0
	小山北	4	82.90	81.00	22	22	0	0	0	0	0	0
	小山中央	3	73.00	75.63	21	21	0	0	0	0	0	1
第6グループ	栃木	4	85.50	84.70	36	37	0	0	5	4	1	1
	栃木西	4	91.35	85.60	32	32	0	0	0	0	0	0
	壬生	4	89.07	80.76	16	17	0	0	1	0	1	1
	栃木南	4	85.30	88.56	30	31	0	0	1	0	1	5
	日光	3	80.39	80.47	22	22	0	0	0	0	0	5
第7グループ	鹿沼	3	83.20	81.53	60	61	0	0	1	0	1	1
	今市	3	86.99	88.42	38	41	2	0	3	0	3	0
	鹿沼東	4	96.05	93.83	41	40	0	0	0	1	-1	3
	栗野西方	5	87.01	87.30	11	11	0	0	0	0	0	1
	鹿沼中央	4	88.64	84.38	21	22	0	0	1	0	1	1
第8グループ	今市きぬ	4	94.64	95.06	26	28	0	0	2	0	2	1
	足利	4	69.64	67.75	30	27	0	2	2	5	-3	0
	足利東	4	79.90	73.08	53	55	1	0	2	0	2	8
	足利西	4	82.40	77.11	16	16	0	0	0	0	0	0
	足利わたらせ	5	100.00	99.52	31	32	0	0	1	0	1	0
第9グループ	佐野	3	93.50	90.83	65	69	0	0	4	0	4	0
	葛生	3	91.90	91.32	31	33	0	0	2	0	2	0
	田沼	5	93.08	89.76	39	39	0	0	0	0	0	0
	佐野東	4	81.81	87.42	22	22	0	0	0	0	0	0
	岩舟	4	91.60	84.78	9	8	0	0	0	1	-1	0
	50RC		85.05	85.18	1627	1677	5	4	68	18	50	63

文庫 通信

315
号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧はもちろん、電話や書信によるご

相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介をいたします。

地区大会講演より

[申込先: ロータリー文庫]

- 「人として野球人として」.....小早川毅彦／(2013)8p(D.2530地区大会記念誌)
- 「これからの日本について」.....鳥越俊太郎／2013／2p(D.2740地区大会記録)
- 「愛と汗の心」.....久世郁夫／2013／13p(D.2510地区大会記録誌)
- 「国際社会の中の日本」.....五百旗頭真／2013／2p(D.2680地区大会記録誌)
- 「平和って、なに色?～私たちにできることを考えよう!」.....ロニー・アレキサンダー／2013／2p(D.2680地区大会記録誌)
- 「地域活性化と芸術(アートフォーラム)」.....北川フラム(コーディネーター)／2013／6p(D.2760地区大会記録)
- 「誰も書けなかった沖縄」.....佐野真一／2013／4p(D.2580地区大会の記録)
- 「いま日本の平和を問う」.....小川和久／2013／19p(D.2590地区大会の記録)
- 「ガウディに挑む男を追う!!－職業人としての使命」.....星野真澄／(2013)／4p(D.2730地区大会記録誌)

ロータリー文庫

〒105-0011
東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 3 階
TEL 03-3433-6456
FAX 03-3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前 10 時～午後 5 時
休館＝土・日・祝祭日

ロータリーの友 12月号への第2550地区からの掲載記事

田村嘉應 友地区代表委員

- ◆2013-14 年度 地区大会略報 第2550地区の地区大会が掲載されています。
- ◆ROTARY 掲示板 インターアクトクラブ終結 塩谷高等学校2013年3月31日承認。
- ◆ROTARY AT WORK IAC年次大会開催 8月3日 第2550地区 年次大会の詳細が載っています。
- ◆FRIENDSHIP PLAZA 1905年 益子RC 平野良和 ロータリー創立の年に合わせて、世界の出来事を縦横に語っています。博識に感服しました。平野さんもっと「ロータリーの友」へ投稿してください。

英文THE ROTARY-NO-TOMO NO.72に掲載分

- ◆英文31ページ 70Kilometer Bicycle Jaunt Kazuhiro Myoga Utsunomiya RC
前月のロータリーネットワークの記事と同じですが、英文ROTARY-NO-TOMOに掲載されました。ご紹介します。
- ◆The Island of Ishigaki Call to Me, Sadao Omori Kuroiso RC
この記事は今年6月号のロータリーの友に記載された友愛の広場「石垣島が私を呼んでいる」黒磯RC大森貞男の記事の英文記事です。二つとも素晴らしいことです。おめでとうございます。(敬称略)

この欄に第2550地区からの掲載記事を毎回ご紹介しています。

12月号の掲載は左記4件でした。
この次はあなたのクラブの記事です。

ロータリーの友への

ご投稿・お問い合わせは下記へ。

どうぞ積極的な投稿をお待ちしています。

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 4 階
一般社団法人ロータリーの友事務所
TEL 03-3436-6651
FAX 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

次年度地区大会のご案内

大田原ロータリークラブ会長 蜂 巢 貞 美

第2550地区1600余の会員の皆様、こんにちは。大田原ロータリークラブ会長の蜂巢貞美でございます。昨年10月6日の地区大会で簡単にあいさつさせていただきましたが、紙面にて再度、次年度地区大会開催のご案内をさせていただきます。

わがクラブは55年間の歴史の中で初めてガバナーを受けることになりました。次年度の地区大会にお出でいただく大田原について紹介させていただきます。

まず黒羽地区は「奥の細道」で芭蕉が最も長く逗留したところ、そして多くの弟子が黒羽にいたということで「芭蕉の里」。湯津上地区は縄文から弥生、奈良時代は県北の中心地であり、ここから那須という地名が起りました。今は日本一の天狗の面が光丸山に奉納されているところ、また珍しい川魚の水族館「ながわ水遊園」のあるところです。

市全体としては那須の与一生誕の地「与一の里」として発信しております。ゆるキャラ「与一くん」は、全国メール投票で平成23年全国4位、一昨年13位、昨年は5位と健闘しました。

次に縄文から弥生、奈良時代にかけて、大田原の佐良土、湯津上地区と隣町的那珂川町の小川地区にかけて1000単位の古墳がありました。そこを奈良時代は東山道が奈良の都から大田原の湯津上、黒羽を経て宮城の多賀城まで結ばれていました。またそこに古代那須の郡（くに）の官衙庁があったのです。今は県立風土記の丘資料館が小川と湯津上にあり、その歴史を発信しています。また栃木県最古の寺「浄法寺」もそこに建

立されたのです。このあたりの文化がその当時いかに高いものだったかわかります。それにもう1つ、当時の金の最大の産地是那須の郡、今の那珂川町の武茂川であり、奈良の大仏の金箔は全部ここ那須の郡の産のものでした。

最近、かつて出荷量日本一といわれた「とうがらし」を復活させての町おこしにも取り組んでいます。葉とうがらしの佃煮は大田原が発祥の地です。

さて、戦後地方の小都市を外へ外へと広げてしまったのを元の中心部に戻して行政の効率を良くし、コンパクトな町にしていくという最近の国の方針に沿って、大田原の市街地の再構築を行っています。小さくても明るくきれいな住み良い高齢者にやさしい町づくりに向けて実行しつつあります。

また、話は変わりますが、消費購買力は高い方で人口7万人余りの町でも百貨店が元気に15年も営業していただいております。

わが町の歴史を紹介しながら、今年の地区大会は全力で対処すべく準備に入っております。おもてなしの心で今年9月19・20・21日の地区大会は良かったといわれる大会にいたします！

会場は日本有数のクラシックホール那須野が原ハーモニーホールをご用意しました。そこに昨年、新しく日本で4つの指に入るパイプオルガンを設置しましたので、皆様にお披露目させていただきます。

来年度は久しぶりの県北での地区大会です。どうぞ万障繰り合わせの上、ご参加くださるようご案内申しあげます。よろしくお願いいたします。

今年は大田原でお待ちしております！

新入会員紹介



よしはら たえこ

吉原 妙子

しもつけ RC

ヘアーサロン吉原
代表

平成 25 年 10 月 2 日入会

15年在籍させていただきました主人の思いに背中を後押しされ、このたび入会いたしました。



みうら たい

三浦 タイ

大田原 RC

みうら
代表

平成 25 年 10 月 3 日入会

どうぞよろしくお願いいたします。



ありま のぼる

有馬 昇

宇都宮北 RC

テクノポリスカイロ
プラクティック研究所
(有馬整骨院) 院長

平成 25 年 10 月 3 日入会

入会に際し地域社会への貢献にわずかもお役に立てればよいと思います。よろしくご指導のほどお願い申し上げます。



きくち ふとし

菊池 太志

宇都宮 RC

(株)NTTドコモ栃木支店
支店長

平成 25 年 10 月 4 日入会

出身が愛媛県で宇都宮の地ははじめてです。単身赴任ですのでお付き合いください。

【訂正】 12月号の新入会員紹介で、吉田恭平氏の入会クラブが宇都宮RCとなっていたのは、「宇都宮東RC」の誤りでした。訂正します。

2014年 ロータリー国際大会(シドニー)のお知らせ

2014年度RI国際大会が、6月1日(日)～4日(水)の4日間、オーストラリアのシドニー・オリンピックパークで開催されます。第2550地区国際大会参加推進委員会では、大会参加に向けてシドニー大会参加旅行(7日間)を企画いたしました。初日にはガバナー主催によるディナークルーズ「栃木ナイト・夕食会」を予定しております。ぜひ、世界各国から集うロータリアンの方々と親交を深めるために、皆様、ふるってご参加いただきますようお願い申し上げます。

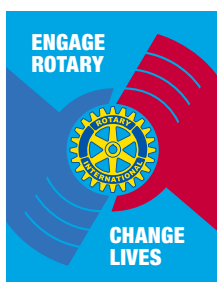
日程表

5月30日(金)～6月5日(木) 7日間

	日 時	地 名	現地時間	交通機関	行 程	食 事
1	5月30日 (金)	東京 (成田)発	20:30	QF22(予定)	空路シドニーへ(直行便利用、機内食1回) 〈機内泊〉	夕: 機内
2	5月31日 (土)	シドニー 着	7:05	専用車	着後: 現地ガイドの出迎えを受け、 半日市内観光およびショッピングの後、ホテルへ ミセスマッコリーズチェア～オペラハウス～オックスフォードストリート～パティントン～ザ・ロックス～昼食～ショッピング(免税店等2軒) ～ホテル着(ホテルチェックインは15:00以降となります) 栃木ナイト・夕食会(ディナークルーズ) 〈シドニー泊〉	朝: 機内 昼: ○ 夕: ○
3	6月1日 (日)	シドニー			日本人親善朝食会出席(予定) ロータリー国際大会開会式出席 (大会開会式は9:30～11:30、 15:30～17:30開催予定) 〈シドニー泊〉	朝: ○ 昼: × 夕: ×
4	6月2日 (月)	シドニー			終日: 大会出席または自由行動 ご希望によりオプションツアーでお楽しみください。 9:00～ 9:30 本会議前の余興 9:30～11:30 第2回本会議 12:30～14:30 会長主催昼食会 13:30～17:00 分科会 20:00～ ホストイベント 〈シドニー泊〉	朝: ○ 昼: × 夕: ×
5	6月3日 (火)	シドニー			終日: 大会出席または自由行動 ご希望によりオプションツアーでお楽しみください。 9:00～ 9:30 本会議前の余興 9:30～11:30 第3回本会議 12:30～14:30 会長エレクト主催昼食会 13:30～17:00 分科会 19:45～ ホストイベント 〈シドニー泊〉	朝: ○ 昼: × 夕: ×
6	6月4日 (水)	シドニー シドニー 発	21:30	専用車 QF21(予定)	終日: 大会出席または自由行動 ご希望によりオプションツアーでお楽しみください。 9:00～ 9:30 本会議前の余興 9:30～11:30 第4回本会議 12:30～14:30 「On to San Paulo」主催昼食会 13:30～16:00 分科会 16:00～18:00 閉会本会議 現地ガイドと共に空港へ 空路東京(成田)へ (直行便利用、機内食1回) 〈機内泊〉	朝: ○ 昼: × 夕: 機内
7	6月5日 (木)	東京 (成田)着	6:15		通関後解散、お疲れ様でした	朝: —

お問い合わせ JTBC関東 法人営業宇都宮支店 (担当:横田・曾禰) TEL 028-614-2171

お申し込み 第2次締め切り 2014年 1月29日(水) ロータリー国際大会登録料:US\$360



国際ロータリー第2550地区 ガバナー事務所

〒320-0826 宇都宮市西原町142 宇都宮グランドホテル内 1階

TEL 028-651-2550 FAX 028-651-2551

E-mail m2550@agate.plala.or.jp

※各ロータリークラブでお知らせしたい情報がありましたら、事務局まで原稿をお寄せください。